

プロジェクト人魚 第62回研究会

2023年2月25日(土)

多声性の国際政治

トーベ・ヤンソン《岩礁小説》における石の様相

【日時】 2023年2月25日(土)14:00～17:30

【開催形態】 ハイブリッド: 東京理科大学で対面開催＋Zoom

【プログラム】

13:45 対面会場受付 & Zoom接続開始

14:00 開会の挨拶・趣旨説明: 中丸禎子

14:10 発表1 伊山智基「多声性の国際政治
—北極評議会と北極海会議の比較分析—」
司会・コメンテーター: 高橋美野梨

16:00 発表2 塘内彩月「トーベ・ヤンソン《岩礁小説》における石の様相
—触れえないものに触れるメディウムとして—」
司会・コメンテーター: 中丸禎子

17:30 閉会の挨拶: 高橋美野梨

※二つの発表とも、30分程度発表者の解題・コメンテーターによるコメントをした後、60分程度フロアとのディスカッションを行います。

※申し込み方法ほか、詳細は裏面をご覧ください。

日時 2023年2月25日(土)14:00～17:30 (ハイブリッド:東京理科大学で対面開催+Zoom)

プログラム

- 13:45 対面会場受付・Zoom接続開始
14:00 ご挨拶・趣旨説明:中丸禎子
14:10 発表① 伊山智基「多声性の国際政治—北極評議会と北極海会議の比較分析—」
(14:10～14:40 執筆者解題・コメント 14:40～15:40 質疑応答)
司会・コメンテーター:高橋美野梨
16:00 発表② 塘内彩月「トーベ・ヤンソン《岩礁小説》における石の様相—触れえないものに触れるメディウムとして」
(16:00～16:30 執筆者解題・コメント 16:30～17:30 質疑応答)
司会・コメンテーター:中丸禎子
17:30 閉会の挨拶:高橋美野梨

参加方法 Zoom:お申込みいただいた方にURLをお送りします。

対面 東京理科大学神楽坂キャンパス(最寄り駅:地下鉄・JR 飯田橋駅):お申込みいただいた方に場所の詳細をお送りします。

お申し込み 以下のURLもしくはQRコードから2023年2月23日(木・祝)20時までにお申し込みください。
<https://forms.gle/2jQhYiiRvrFHVuLu36>

※論文を事前にお読みいただいてご参加いただきます。

2月15日までにお申込みいただいた方には2月15日、それ以降
にお申込みいただいた方には順次、論文をお送りします。



登壇者プロフィール

伊山 智基(いやま・ともき)

2000年北海道札幌市生まれ。北海学園大学法学部政治学科4年。2023年3月卒業予定。

北海学園大学法学部の三年次に、卒業研究の指導教員となる高橋美野梨先生の講義を受講し、北極におけるマルチレベル・ガバナンスに対して関心を持った。その関心を基に、卒業論文では、マルチレベル・ガバナンスを謳う北極評議会とその後の北極海のレジーム形成の端緒となった北極海会議において、先住民の声がどのように扱われていたのかを比較分析した。

塘内 彩月(とううち・さつき)

1999年熊本県八代市生まれ。東京大学教養学部表象文化論コース 2022年3月卒業。

卒業論文では、スウェーデン語系フィンランド人であるトーベ・ヤンソン作品のうち「ムーミン」シリーズ後の小説を中心に、〈岩礁〉という地理的装置に着目しながら、しばしば伝記的叙述に終始していた「父親」の分析につとめた。同論文にて表象文化論コース優秀論文賞を受賞。現在は人文版元にて雑誌編集を務める。

高橋 美野梨(たかはし・みのり)／プロジェクト人魚メンバー

1982年山梨県甲府市生まれ。国際関係学・北極政治。北海学園大学准教授。

自らの立場の移ろいを積極的に引き受ける地域研究的アプローチから、意思決定プロセスの柔軟性を最大化していこうとするデンマーク国家政治の展開を、自治領グリーンランドに軸足を置きながら実証的に研究している。*Exploring Base Politics: How Host Countries Shape the Network of U.S. Overseas Bases (Routledge Advances in International Relations and Global Politics)*. Abingdon and New York: Routledge. Eds. 2021など。

中丸 禎子(なかまる・ていこ)／プロジェクト人魚代表

1978年広島県佐伯郡(現廿日市市)生まれ。北欧文学・ドイツ文学。東京理科大学准教授。

＜北欧文学・ドイツ文学双方を研究する日本の研究者＞という立場から、スウェーデン近代の女性作家セルマ・ラーゲルレーヴの受容研究とテキスト分析を行う。これを通じ、北欧、ドイツ、日本の民族主義と他者排除の問題を研究している。「国民高等学校(フォルケホイスコーレ)と満蒙開拓—加藤完治と賀川豊彦のデンマーク受容」『比較日本学教育研究部門研究年報』第18号(お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所)2022年3月など。